

第46回全国高校選抜優勝大会（ウィンターカップ）静岡県予選大会展望

文・静岡県バスケットボール協会広報委員長
中島 洋己（浜松市立高校教諭）

第46回全国高校選抜優勝大会（ウィンターカップ2015）静岡県予選は平成27年10月24日から静岡県武道館他で開催される。男女優勝チームが12月23日に東京体育館で開催する全国選抜大会（ウィンターカップ）への出場権を獲得する。

【男子】

近年県4強と言えば飛龍・藤枝明誠・沼津中央・浜松学院だが、その中でも本命はやはり県新人と県総体で優勝、7月の全国総体でもベスト16に入った飛龍。エース・安部紘貴のスピード感あふれるプレーは全国でも大いに通用することが証明された。カットインしてからの切れ味あるドライブはインサイドのディフェンスがそのスピードに追いつけないほどである。間違いなく今大会注目度ナンバーワンプレーヤーである。中盤の小宮光紀は再三再四怪我に泣かされてきたが大事なところで勝負を決めるチームの大黒柱である。インサイドの関屋風画、馮俊凱とともに県選抜選手。この2人にボールが多くつながるような展開に持ち込めれば9年ぶりの優勝、そして県内大会三冠の可能性は高い。

対抗は藤枝明誠。2月に三上淳前監督が急逝、高木彰監督代行が東海新人の指揮を暫定的にとったが、4月に江口里沙監督が正式に就任。選手と「姉弟」のような年齢差ではあるが抜群のリーダーシップでチームを牽引、県総体準優勝で10年連続の全国総体出場を勝ち取った。大会直前に監督が金本鷹に代わったが、チームが目指すものには変わりはない。責任感の人一倍強い主将・林大眞はチームの司令塔で積極的にゴール下に切り込むプレーを得意とする。中盤の草野佑太、奥野綾汰は共に185cmを超える長身を生かしたつなぎのプレーが魅力。特に奥野は東海国体少年男子の主将を務め、信頼感も絶大である。石井竜馬、富田一成に加え、5月から合流した200cmの中国人留学生・張新鋒を擁するセンター陣は高さだけでなくブレイク時のスピードも他チームには脅威になるに違いない。

沼津中央はU-18日本代表候補にも選ばれ県選抜選手でもある今村拓夢がチームの得点源。抜群の跳躍力で相手チームのブロックをかわしながらのシュートはここ一番でチームを救い続けてきた。得点が欲しい時に流れを引き寄せてくれるスコアラーとしてチームの浮上の鍵を握るプレイヤーである。その他昨年から主力として活躍する石丸彪や司令塔・荻野賢雅、中盤の藤原佑介、華麗なパスワークでディフェンスを幻惑させる小花巧、成長著しいセンターの宮澤亮など戦力は上記2チームにひけをとらない。そして藤枝明誠・張に並ぶ200cm、県内最高身長の新セネガル人留学生・サンヴーアンドレは県総体、東海総体にも出場しプレイングタイムを多く与えられ実戦経験を積んできた。この秋までの上積みによってはチームを全国に導く可能性も十分ある。準決勝で予想される藤枝明誠との戦いが3年ぶりの

優勝に向けての大きな修羅場となる。

4強の一角、**浜松学院**は県新人では惜しくも準優勝、満を持して臨んだ県総体ではまさかの決勝リーグ3連敗で4位。東海総体出場すら逃してしまった。併設中学が平成25年静岡全中で優勝した時のメンバーが主力という若いチームだが、その「若さ」が「うまさ」にやられてしまう結果となってしまった。しかしエースの**田中旭**は厳しいマークとディフェンスに手を焼きながらも決勝リーグ3試合で78得点。U-18日本代表候補にも選ばれた意地を見せた。アウトサイドシュートに絶対の自信を持つ**横川真那斗**、そして広い視野からボールを繰り出すチームの司令塔・**伊藤颯太**、そして平成26年香川全中で全国3位を経験、1年生ながら決勝リーグでは3年生相手に堂々たるプレーを見せた**ダシルバヒサシ**、**石川晴道**などが全国の檜舞台で培った経験値を生かすことが出来るか注目したい。

その他、3月の国内遠征メンバーにも選ばれたエース・**二村響**や抜群のボディーバランスを誇る**神田諒成**を中心に攻守隙のないバスケットを展開する**浜松開誠館**、平成24年埼玉全中に出場経験があり、東海国体では県総体4強チーム以外から唯一県選抜に選ばれた**高橋佳希**を擁する**静岡学園**、昨年の県選抜、県新人、県総体と3期連続でベスト8に食い込み、エース・**井村大我**の攻撃力が魅力である公立の雄・**伊豆中央**、県新人、県総体ともにベスト8の**星陵**、そして県内日本人最高身長192cm**越後航平**や全中出場経験のある**古藤田雄貴**など戦力的にも充実している**加藤学園**などが4強を追いかけ県武道館メインコートの舞台を目指している。

【女子】

今年も**常葉学園**が他の追随を許していない強さを誇る。現在県内3大会（総体・選抜・新人）6連覇中。2年半県勢相手に負けなし、まさに無敵である。戦力も充実期にさしかかり、エース・**篠宮杏奈**の広いシュートエリアから放たれる正確なジャンプシュートは全国でも間違いなくトップレベルである。司令塔の**見崎南美**は軽快なフットワークが持ち味でディフェンスの要となっている。センターを任されている**河合夏海**はリバウンドやゴール下での果敢なシュートでチームに貢献、怪我から復帰した**柴美佑**や下級生の**伊東ひかる**・**かおる**姉妹や国体選手・**高橋夏瑠**、控えの長身センター174cmの**野本陽香**など4年連続16回目の優勝に向かって天下の宝刀、「ステイローからの速攻」の切れ味はますます冴えわたる。

「ストップ常葉」の一番手は**駿河総合**。昨年とほとんどレギュラーメンバーは替わらない。特にセンター陣3人の平均身長は176cm。地道な下半身トレーニングで課題のスピード力を強化した**大串梨沙**、今春トップエンデバーに選ばれた**加藤陽**、速さが魅力のオールラウンドプレイヤー**池ヶ谷優香**を揃える多彩な顔ぶれ。司令塔・**西村茉優**は45度から切れ込むシュートを得意とし、中盤の**浜辺詞織**、**瀧本菜々子**は多くの実戦を経験しチームの得点源となってきた。全国総体で強豪・山村学園を攻略した「考えて創り出す激しいバスケット」にさらなる磨きをかけ王者・常葉学園の牙城を切り崩し、悲願の初優勝を目指す。

県総体3位の**浜松開誠館**も2強を猛迫する。埼玉全中ベスト8時の主力が3年生になり勝負の年でもある。エース・**小幡美乃理**に加え、司令塔・**山口史乃**、2年生の**陽本麻優**と3人の国体選手を抱えている。特に山口はディフェンスのブロックを巧みにかわし、クイックリリースで放つ3Pシュートが持ち味で、東海総体ではその潜在能力を遺憾なく発揮し会場から大きな拍手と歓声を浴びた。前身の誠心として昭和63年度に全国選抜出場経験があるが、浜松開誠館としてはまだ聖地・東京体育館のコートには未踏である。合わせてその時の出場が現在まで西部地区女子最後の全国選抜出場となっている。初優勝で27年ぶりの全国選抜出場を決めることが出来るか。市立沼津、浜松学院が集う激戦ブロックであるだけに一戦一戦の積み重ねが続く駿河総合、常葉学園との戦いに大きく影響することだろう。

県総体4位の**東海大静岡翔洋**は一部の3年生が県総体で引退し、2年生主体のチームで臨む。静岡全中に出場したメンバーが中心の布陣で、攻撃の要は**濱本希代加**。決勝リーグ3試合でチーム総得点149点中52点、実に35%を濱本が記録、切れ込んでのドライブシュートやディフェンスが対応する前に放たれる3Pシュートなど多彩な攻撃が持ち味である。その他173cmのセンター・**西村紗那**や怪我から復調し万全な体制で出場が出来る**糟屋菜里**、チームの精神的支柱である主将・**平田萌香**などチームに勢いがある時には上記の3強にも迫る強さを持つ。初の県武道館での試合前日に対戦が予想される東部の強豪・沼津中央戦が大きなカギを握る。昨年の大会では1点差で翔洋が勝ちきったが、県新人では沼津中央が勝利。今回3度目の戦いが注目である。

県総体ベスト8のチームに目を移すと県新人4位の**浜松学院**が上記4チームに最も肉薄している。安定したシュート成功率を誇る**添田南葉**に加え、インサイドにはスピード感あふれる**古野実希**と県内女子最高身長183cm、リバウンドを常に味方の得点につなげる**新村莉子**が控える。準々決勝で予想される浜松開誠館とは県総体準々決勝で対戦、第4Q終盤で離され惜しくも涙を飲んだが、昨年もこの大会ではベスト8に入っているだけに今回は是が非でも勝利し県4強に足を踏み入れたい。浜松海の星と藤枝順心は主力の3年生が県総体で引退し、苦しい戦いが予想される。**浜松海の星**はインサイドでのボール支配が巧みな**飯島渚**が残りチームの核となっている。インサイドの173cm**名倉百香**とのツインタワーを有機的に活用出来ればどのチームも苦戦するだろう。**藤枝順心**は3年生エース・**柴田江マ**が残ったのが大きい。強靱なフィジカルを誇り、半ば強引なドライブから放たれるレイアップシュートは他チームの脅威となる。**浜松市立**は3年生が全員引退し完全に新チームになった。都道府県対抗ジュニアに出場経験のある**白井渚**や8月の県トップアスリートにも招集された**天野優**がチームの中心。早く新チームとして始動した利点を生かし、まずは確実に2勝して王者・常葉学園に挑みたい。

その他、県総体で惜しくもベスト8を逃した**市立沼津**や**沼津中央**、**飛龍**の東部勢も虎視眈々と県武道館進出を狙っている。